

# 安全データシート

## (SDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	e-テクノプライマー
製品番号	
会社	社 : サンコーテクノ株式会社
住所	所 : 千葉県流山市西深井 1028-14
担当部門	門 : 機能材本部
電話番号	号 : 04-7155-6300, FAX 04-7155-6322
e-mailアドレス	:
緊急連絡先	先 : 04-7155-6300
製品の種類	:
用途と使用上の制限	:
作成日	日 : 2015年8月31日
改訂日	日 : 2017年5月15日

MSDS整理番号 ES-04

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

<健康に対する有害性>

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

皮膚感作制 : 区分1

<環境に対する有害性>

水生環境急性毒性 : 区分2

水生環境慢性毒性 : 区分2

\*上記で記載がないものは、分類できない、分類対象外

#### GHSラベル要素

ラベル表示 :



注意喚起語

警告

### 危険有害性情報

- ・ 皮膚刺激
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・ 水生生物に毒性
- ・ 長期的影響により水生生物に毒性

### 注意書き

#### <安全対策>

- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
- ・ 火災の際は粉末消火薬剤等を使用すること。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・ 取り扱い中は、皮膚に触れないように注意し、保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

#### <応急処置>

- ・ 火災の場合には適切な消化方法をとること。
- ・ 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けさせること。
- ・ 呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当てを受けさせること。
- ・ 飲み込んだ場合は、口をすすぎ、医師の診断、手当てを受けさせること。
- ・ 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の診断、手当てを受けさせること。
- ・ 皮膚刺激が生じた時は、医師の診断、手当てを受けさせること。
- ・ 皮膚または髪に付着した時は、多量の水と石鹼で洗い、衣類が汚染された時は直ちに全てを取り除くこと。

#### <保管>

- ・ 冷暗所に保管すること。
- ・ 暑さ・過熱から保護すること。
- ・ 直射日光を避けること。
- ・ 30℃以上の温度に長時間さらさないこと。

#### <廃棄>

- ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
-

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名	アクリルモノマー	ポリウレタン アクリレート オリゴマー	タルク	充填剤	アクリレート オリゴマー	光重合 開始剤	ジフェニル(2,4,6- トリメチルペニゾール) ホスフィンオキサイド	シリカ (表面処理品)
含有量 wt%	20~40	10~20	10~30	10~30	10~20	1~5	0.1~5	1~5
化学式 又は構造式							C <sub>22</sub> H <sub>21</sub> O <sub>2</sub> P	
官報公示 整理番号			対象外					(1)-548
CAS No.			14807-96-6				75980-60-8	

労働安全衛生法 名称を通知すべき危険及び有害性(法第57条の2、施工令第18条の2 別表第9) シリカ(政令番号:312)  
 化審法(第2種監視化学物質):ジフェニル(2,4,6-トリメチルペニゾール)ホスフィンオキサイド

## 4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。

吸入した場合：負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。  
 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。

皮膚に付着した場合：すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。  
 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。  
 刺激が見られたら医師の診断を受ける。

眼に入った場合：直ちに清浄な水で15分間以上洗い流す。  
 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。  
 眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。

飲み込んだ場合：嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。  
 事故の場合または気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。  
 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、容器に記載された注意事項やラベル、SDSを示す。  
 飲み込んだ場合は、水で口内を洗う(負傷者の意識がある場合)。

応急措置をする者の保護：  
 救急者は、保護具を着用する(暴露防止措置の注意事項を参照)。

医師に対する特別注意事項：  
 直ちに医師の診断を受け、容器のラベルに記載された注意事項又はSDSを示す。

## 5. 火災時の措置

消火剤：炭酸ガス、泡、粉末。

消火方法：火元への燃焼元を絶ち、適切な保護具(耐火服、手袋、自呼吸式マスク)を着用し指定消火器を使用して風上から作業する。  
 有毒なガスの発生が考えられるので燃焼時に発生した蒸気は吸入しないようにする。

## 6. 漏出時の措置

関係法規に準拠して作業する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

作業者は保護具（暴露防止措置、保護具の項を参照）を着用し、風上で作業する。

屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。

漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：

漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

除去方法

回収：漏出物を密閉可能な容器にできる限り集める。  
残留物は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。  
回収するときは、火花のでない器具を用いて回収する。

廃棄：回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害防止策：

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

火気厳禁。

漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。

万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

関係法規に準拠して作業する

取扱い：容器は注意して取り扱い、開ける。  
使用時には飲食しない。  
皮膚との接触を避ける。  
眼との接触を避ける。  
眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。  
全ての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。  
皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

技術的対策：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。  
眼／顔面用の保護具を着用する。  
適当な保護衣および眼／顔面用の保護具を着用する。  
取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

注意事項：取り扱いは換気のよい場所で行う。  
局所排気装置の設置された場所で作業する。

安全取扱い注意事項：

取扱いに関しては、十分注意すること。

保管：冷暗所保管とする。

容器包装材料：密閉した容器にて保管。

## 8. 暴露防止措置

設備対策 : 取扱いについては全体換気装置または局所排気設備を設置した場所で取扱う。

許容濃度 : 情報なし

## 保護具

呼吸器の保護具 : 有機用ガスマスクまたは、防毒マスク、局所排気装置等の設置。

手の保護具 : 不浸透性手袋（ウレタン製等）

目の保護具 : 保護眼鏡（ゴーグル型）または保護面（防災面）。

皮膚及び身体の保護具 :

帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

## 9. 物理／化学的性質

## ・製品として

外 観 等 : ペースト状

色 : 白色

臭い : アクリレート

pH : 該当しない

沸点 : データなし

密度 : 1.4 (比重)

溶解性 : データなし

引火点 :  $> 70^{\circ}\text{C}$

爆発特性 : データなし

蒸気圧 : データなし

融点／凝固点 : データなし

自然発火温度 : データなし

燃焼又は爆発範囲 : データなし

蒸気密度 : データなし

オクタノール／水分配係数 : データなし

## 10. 安定性および反応性

安定性 : 通常の使用において安定。

特定条件下で生じる危険な反応 :

過酸化化物、還元剤と触れると激しく反応するおそれがある。

避けるべき条件 :  $50^{\circ}\text{C}$ 以上の高温。

紫外線が当たる状況。

危険有害な分解生成物 :

$\text{SO}_x$ 、など。

## 11. 有害性情報

局所効果 : 短期暴露した場合、眼及び皮膚に刺激性がある。

反復または長時間の吸入、摂取及び接触で健康障害を生じる可能性。

## 1 2. 環境影響情報

データなし

---

## 1 3. 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。  
法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。  
法的規則に適合した設備と方法で焼却処理を行う。  
焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却炉の使用を推奨する。  
産業廃棄物として専門の廃棄物処理業者に委託しても良い。

---

## 1 4. 輸送上の注意

UN Number : なし。  
IATA : 該当しない。  
IMO : 該当しない。

容器に漏れ、破損の無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。荷役作業は丁寧慎重に行い、包装容器を破損、転倒しないように取り扱う。取扱いに際しては、必ず保護具を着用して作業する。  
そのほか、危険有害性の要約、取扱い及び保管上の注意、安全性及び反応性の項を参照するほか、関係法令の定めるところに従う。

---

## 1 5. 適用法例

消 防 法 : 危険物第4類 第3石油類 (非水溶性)  
労働安全衛生法 : 名称を通知すべき危険物及び有害物  
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)  
シリカ (政令番号: 312)  
化審法 (第2種監視化学物質) : ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキサイド  
毒物及び劇物取締法 : 該当しない

---

## 1 6. その他 (引用文献等)

引用文献

- 1) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果データベース (利用者判断)
  - 2) 国際簡潔評価文書 (CICAD)
  - 3) 国際化学物質安全性カード (ICSC)
  - 4) 太田和夫: 高分子加工・別冊 7,19, 63-91 (1970)
  - 5) 社団法人日本化学協業協会発行「製品安全データシートの作成指針」改訂 2 版  
GHS 対応ガイドライン
-

#### 記載内容の取扱い

- ・記載内容は現時点で入手できる情報等にもとづいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては保証値ではありません。又、記載事項は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策等を施してください。
  - ・すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには最新の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願いいたします。
  - ・この情報は新たな試験及び法令の改正などにより改訂されることがあります。
-